

2011 研修分科会

INSTITUTE OF
ASSISTANCE
FOR
ACADEMIC
LIBRARIES

国立国会図書館国際子ども図書館
第3回 夏季見学ツアー
2011.8.24



広い視野で大学図書館の基礎知識を学び、自ら探求する

研修分科会について

—第1回 開催案内より—

現在大学図書館ではアウトソーシングが進み専任職員には個々の業務を理解するだけでなく、マネジメント能力が求められています。そのためには大学図書館を俯瞰し、広い視野で方向性を見極めることが必要です。この研修分科会では、毎回テーマを決めて材料を提供しますので、参加者各自が自分の図書館を見つめ直し、大学図書館の役割を考える機会にしたいと思っています。

また、年6回を通して、大学の枠を越えた仲間づくりの場にしていきましよう。相談できる仲間が他の大学図書館にできれば、きっと困った時に助け合えると思います。

概要

年6回開催(期間1年)

業務経験5年未満の初任者研修

応募条件：

- 個人登録を基本とする。
- 毎回事前課題を提出。講義、グループ討議や実習を行なうので、積極的に参加意欲のある方。
- 欠席の場合も事前課題は義務とする。

私立大学図書館協会東地区研究部にはおよそ35年前に研修分科会がありました。2年間の研修分科会終了後、各々研究分科会に参加し、図書館界で活躍している仲間を輩出していました。その仕組みを、2009年度に復活させたのがこの研修分科会です。2011研修分科会は、従って新制3期となります。

組織の枠を超えて、いろいろな問題に挑戦する中で、大学図書館を連携して発展させていくために必要な、ヒューマンネットワークが形成されることを目指しています。

参加者：28名(25機関)

大学名順・敬称略

2011

赤間廣子(青山学院大)/椎名由美(青山学院大)/下大沢葉子(跡見学園女子大)/村上佑司(桜美林大)/内藤沙織(学習院大)/中村裕史(神奈川大)/山岸いづみ(共立女子大)/柄田明美(国立音楽大学)/田中優美(駒沢大)/関口千登世(城西大)/福庭則子(上智大)/杉本正武(成城大)/矢ヶ崎理紗(成城大)/七島美和子(専修大)/武政朗子(中央大)/荒木幸弘(東海大)/富樫早苗(東海大)/伊藤真実(東京音楽大)/畑川直哉(東京農業大)/野川夢美(桐朋学園大)/熊倉武(獨協医大)/宮原柔太郎(日本体育大)/奥井翔太(文化学園大)/中根聡一(法政大)/伊能秀明(明治大)/菅居道昭(明治学院大)/青野有香里(立教大)/林佐智世(麗澤大)



各回のテーマ

機関リポジトリを知る

第1回 2011.5.26

東京歯科大学図書館 阿部潤也氏

「機関リポジトリ」という言葉は聞いた事がある方が多いと思いますが、なぜ大学図書館の業務として行なわれるようになったのか、その意義、概要、実際について説明いただき、あらためて大学図書館が研究・教育に必要な学術情報を提供する役割を担っていることを考えました。

JUSTISの設立と今後の活動

第2回 2011.7.7

国立情報学研究所図書館 守屋文葉氏

JUSTICEは今一番ホット！な話題です。大学図書館間の連携は様々な場面でこれまでも行なわれてきました。歴史的には共同分担目録、相互貸借、資料保存、研修等々、1館1大学では解決が難しい問題を新たな枠組みで協力しあってきました。図書館間の連携への関わり方は、目的や規模によって異なりますが、各館がどう主体的に共同していくかについては、館員一人一人の考え方やマネージメント力によるのです。

コレクションの魅力

第3回 夏季見学ツアー 2011.8.24

国立公文書館(竹橋) → 国立国会図書館国際子ども図書館(上野) → 東洋文庫(駒込)

貴重な資料や設備、建築をみせていただきました。特徴ある資料収集は、レファレンス業務で役立つだけでなく、資料保存や提供方法、担当者の資料に対する知識にも感動。資料保存技術、児童の読書推進、特殊言語資料整理に関する幅広い啓蒙活動が、大学図書館にも大変参考になりました。移動の都バス貸切、パンダで賑わう上野で昼食、ハードで楽しい1日でした。

図書館運営と資金獲得

第4回 2011.9.22

明治大学図書館 中林雅士氏

図書館のミッション、図書館を取り巻くステークホルダー、置かれている状況の変化を考えていくと、その先に図書館の専門性の再構築が見えてきました。国庫助成、資料費、業務委託費それぞれ厳しい状況下では、図書館の姿勢が問われているのだと考えさせられました。

FD活動と情報リテラシー

第5回 2011.11.2

同志社大学企画課 井上真琴氏

文部科学省中央教育審議会「学士課程教育の構築に向けて」において、大学での初年次教育や教員のFD(ファカルティ・ディベロップメント)、職員のSD(スタッフ・ディベロップメント)についての提言がなされています。図書館の情報リテラシー教育も、学習法の理論をもとに、FD活動と協働できるようなものにしていかなければならないことを、豊富な具体例を示してご講演くださいました。

企画力

第6回 2011.12.8

アカデミック・リソース・ガイド 岡本真氏
人と組織を動かすための「企画」の立て方を具体例に基づいて解説があり、VMSO (Vision, Mission, Strategy, Objectives)の重要性や、様々な手法について学びました。また、講演の後、実際に企画を立案・評価するワークショップを体験しました。

毎回自ら考え、学んだことを実際に業務に活かすことがこの研修分科会の目的です。

企画・運営：NPO法人大学図書館支援機構

事前課題と グループ討議

1. 自己紹介

自己紹介やグループ討議は、Think Pair Share、Round Robinの技法を取り入れ、学習する方法も学びました。傾聴、ミラーリングにより、お互いを尊重しあうコミュニケーションの基本が、自己紹介等で実践されました。

2. 節電対策を考える

3.11を意識改革の原点としてとらえ、みんなで図書館サービスと節電対策について考えてみました。利用者に居心地のよい空間を提供し、資料保存にも優しい節電対策…。併せて危機管理の問題意識が浮き彫りになりました。

3. (見学ツアー)

見学ツアーの回は、宿題も討議もお休み...ですが、各見学先で活発な質問が出されていました。

4. アウトソーシング

事前に細かな業務単位に自館の実務担当(専任、委託、派遣、短期直接雇用、学生アルバイト)を調査し、担当業務で分かれてグループ討議を行ないました。

5. 延滞ペナルティ

参加者からのリクエストで、延滞罰則の調査を行ない、様々な問題点が浮き彫りになりました。

6. 2011研修分科会成果

最終回では、全員で3分間スピーチを行ないました。2011研修分科会を通して学んだことから、「図書館の将来像」「大学図書館の機能と役割」を語ってもらいました。

機関リポジトリの仕組みを利用した情報収集

課題はL-ラーニング研究分科会で運営している「図書館員のためのリポジトリ」にアップします。事例の収集が研修に役立つだけでなく、XooNlpsというリポジトリの仕組みを実際に使って慣れてみるのが目的です。

<http://www.l-learning.jp/xoonlps/>

その他、各館で問題になっていることを、自主的にメーリングリスト等を使って、アンケート形式で情報交換が行なわれました。